

真壁高校と桜川市が 官学連携で地域活性化

7月21日、真壁高校と桜川市は、地域社会の一層の活性化に資するための協定を結びました。

桜川市が進める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のひとつとして、地域の人材教育、資源活用、プロモーション、仕事づくりについて連携。お互いの資源を効果的に活用し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展を目的としています。

真壁高校は、農業科、環境緑地科、食品化学科など特色ある学科があり、農業や石材業などの将来を担う人材を育てています。また、地元の酒蔵会社と地酒造りに取り組んだり、市内イベント会場で、農産物や加工品を販売したり、地域に根ざした学校づくりを展開しています。

当日は、旧真壁郵便局で、真壁高校の植木邦夫校長と大塚市長が、協定書にサイン。植木校長は、「生徒の感覚を大事にして、新たな魅力を生み出す企画・アイデアを出していきたい」と話し、生徒会長の前野叶美さんは、「生徒たちで計画を考え、地域活性化のため頑張りたい」と話していました。



桜川市まち・ひと・しごと地域創生
茨城県立真壁高等学校と桜川市との官学連携に関する協定調印式
～桜川市のこれからの担う高校生と、これからのしごと・くらしを創発～

官学連携の協定を結んだ(写真右から)大塚市長、真壁高校の植木邦夫校長、前野叶美さん

今後は、つくばりんりんロードの活用をはじめ、市の資源と生徒のアイデアを融合した取り組みが予定されています。

国勢調査がよりスムーズに ～インターネットで回答可能～



平成27年10月の国勢調査では、パソコンやスマートフォンを使って、インターネットからの回答が可能になりました。

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とする、国の最も重要な統計調査です。調査結果は、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策、児童福祉、地域の活性化など私たちの暮らしの様々な分野で役立てられる基礎データになります。

調査関係書類は、9月上旬から調査員が各世帯を訪問して配布します。10月1日現在の皆さんの状況を回答してください。

インターネットで回答するか、記入した調査票を調査員に渡すか、郵送でも提出できます。

皆様のお宅に統計調査員が調査に伺いましたら、ご協力をお願いします。

■問合先／企画課 統計・市民協働グループ
(☎ 58-5111・75-3111、内線 1274)



【お詫びと訂正】
本紙2015年7月1日号
(No.235) 4ページ「叙勲・褒章の受章 おめでとうございませう」の中に誤りがありました。お詫びして、訂正(赤線箇所)いたします。

◆藍綬褒章
阿部富佐子さん
現調停委員
(70歳・楸田地区)

寄付

チャリティーゴルフ大会を開催した桜川市区長ゴルフ愛好会(櫻井信文会長)から、桜川市の教育振興のために、寄付がありました。



梅井教育長(写真左)へ寄付金を手渡す桜川市区長ゴルフ愛好会の櫻井信文会長(写真右)

常陽銀行から、同銀行の創立80周年事業の一環として、明るい地域社会づくりに貢献したいと、軽自動車の寄贈がありました。



軽自動車を寄贈した常陽銀行大門卓行真壁支店長(写真右)と塩谷和宏岩瀬支店長(写真左)

寄付

寄贈